

場面^{ばめん}に 合う^{あう} 慣用句^{かんようく}を、上の ア～ケ^{うえ}から えら^えんで、記号^{きごう}で 書^かきましょう。

ア 目を丸くする

イ 目がない

ウ 目を光らせる

エ 耳がいたい

オ 耳をうたがう

カ 耳をすます

キ 鼻が高い

ク 鼻にかける

ケ 鼻を明かす

① 妹^{いもうと}が かいた^え 絵^えが 入選^{にゆうせん}して、家族^{かぞく} みんなが ほこらしく 思^{おも}った。

キ

② 図書館^{としょかん}の 人^{ひと}が、本^{ほん}が らんばうに あつかわれ^みないよう 見^みはっている。

ウ

③ いつも からか^{あに}ってくる 兄^{あに}に、テストの 点^{てん}で 勝^かって おどろかせた。

ケ

④ 姉^{あね}は あまい もの^{だいす}が 大^{だい}好きで、ケーキ^みを 見^みると がま^みんできない。

イ

⑤ 森^{もり}の 中^{なか}で、鳥^{とり}の 声^{こえ}を 聞^きこうと 静^{しず}かに した。

カ

⑥ 足^{あし}が 速^{はや}い こと^{こと}を、いつも 自^じまんして^{とも}いる 友^{とも}だち。

ク

⑦ 遠足^{えんそく}が 中^{ちゅうし}止^しだと 聞^きいて、本^{ほん}当^{とう}か^{おも}と 思^{おも}った。

オ

⑧ 先生^{せんせい}に「わすれ物^{もの}が 多^{おほ}いですね」と 言^いわれて、聞^きくのが つらかった。

エ

⑨ マジックで ぼうし^でから はと^でが 出^でてきたので、みんな びく^でりした。

ア

